塾山

川内小学校の裏にある山の呼称。昔，その一角に青少年の生活の訓練や精神の陶冶を図ることを目的とした修道塾が建てられ，川内小魂の根源を醸成する教育が行われていた。

【５月16日開校記念綱引き大会】

無くはない未来

校　長　　中川路　和孝

趣味ではないのですが，好きなことがあります。閉校した学校にたたずむことです。積極的に閉校した学校を巡るわけではありませんが，たまたま通りかかった場所に閉校した学校を見つけると，車を止め，しばらく眺めるのが好きです。かつて，どんなにぎわいがこの学校にはあったのか，思いをめぐらせ，感傷に浸っている時間が好きです。閉校してしばらくたったであろう学校も，ちゃんと草が刈られ，樹木の剪定が行き届いていることが多く，閉校後も地域の人々の拠り所になっていることが容易に想像できます。

消えゆく自治体調べ民間有識者らでつくる「人口戦略会議」が先月に公表した分析結果で，鹿児島県内では曽於市や枕崎市など１５自治体が「消滅可能性がある」とされました。

北薩地区では，平成２０年度１４１校あった小・中学校が，令和６年度には８３校に減少しています。我が川内小学校も，ここ数年，児童数は２７０人から２９０人の間で推移していますが，その内５０人前後は，特認校制度を活用した平佐西小校区の子供たちです。

１４６年の歴史と伝統を重ねてきた川内小が，未来永劫この地に存在し続けてほしいと思います。

先日，さつま町で「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」についてのフォーラムがありました。学校職員，保護者，地域住民など300人くらいの会でした。参加者の多くは，地域住民の方でした。学校と地域が連携した教育活動について，県内の３団体が実践事例を発表しました。

地域で学ぶことは，子供たちにとって地域の担い手としての自覚を促すことにつながると同時に，地域の方にとっても生きがいや自分が必要とされているという自己有用感にもつながるということがよく分かりました。「学校づくり」と「地域づくり」は深くかかわっているのです。

これからの時代を生き抜く子供たちにとって，身の回りに生じるさまざまな問題に自ら立ち向かい，その解決に向けて，立場の異なるいろいろな人と一緒に力を合わせながら，よりよい解決方法を見つけ出していく能力を身に付けることはとても大事なことです。多様な考えを受け入れ，いろいろな人と関わる力，社会に参画する力を育成するには，地域の方と一緒になって活動する学びは欠かせません。

昨年度，３年生の学習で「高齢者とのふれあい」がありました。囲碁や将棋，グラウンド・ゴルフに「がね」天ぷら作りなど，さまざまな活動をとおして子供たちと高齢者の皆さんがふれあう機会となりました。子供たちはもちろんですが，高齢者の皆さんがとてもいきいきと楽しそうに活動する姿に，おもわず笑みがもれました。

また，４年生の学習では，「ふるさとを歩こう」ということで，地区コミを中心とした地域の皆さんに地域を案内してもらいました。ふるさとの歴史や昔の様子などについて話を聞くことができました。この活動では，子供たちがあらためてふるさとのよさや魅力を再発見する機会となりました。また，案内してくださった皆さんも資料を準備したり詳しく説明をしたりして，楽しそうに活動をされていました。

川内小が地域の皆さんの心の拠り所としてこれからもこの地に存在し続けていくために，そして川内小校区の皆さんと学校が一緒になって明るく豊かな町づくりを進めていくために，校区の皆さんにお願いしたいことがあります。学校に遊びに来ていただけませんか？グラウンド・ゴルフの帰りや会合等の後に，連れ立って学校へお越しください。そして，子供たちに声をかけてください。できれば，大げさに褒めていただくととても有難いです。子供たちは，親や先生が褒めてくれることはごく自然なことだと感じていますが，地域の方，つまり「第３の大人」から褒められることは，とても大きな励みとなります。子供たちが，ここに住みたい，帰ってきたいと思えるようなふるさとにしたいものです。そのためにも，地域の方とのふれあい，地域の方による見守り，声掛け，称賛がとても大事になってきます。

30年後，「昔，ここは川内小という学校があって…。」　そんな無くはない未来の岐路に立っています。

エンペイ（集金代行システム）の運用の開始について

川内小学校では，５月集金よりエンペイによる各種集金の運用を始めます。導入の目的については，

⑴　集金業務を効率化し，先生方が児童と向き合う時間を増やす。

⑵　児童に金銭を持たせ集金することによる紛失等の問題を防ぐ。

⑶　保護者は，ネット決済により24時間払い込みができる。

などが挙げられます。手数料等が発生しますが，上記に挙げた「業務の効率化」「金銭の紛失を防ぐ」「集金の利便性」を考え，今回の導入を決定いたしました。

これまでの方法

金銭の準備

紛失の可能性

紛失の可能性

多忙化

金銭の集計
銀行への預け入れ
支払い

エンペイを使用することにより

利便性の向上
LINEでのお知らせ
ネット決済

正確な入金記録

業務の改善
児童と向き合う時間の確保
教育の質の向上

子どもの居場所作り　きずな作り

図書室には，「四つ葉のクローバー文庫」があります。これは，川内中央中校区の小学校で児童に勧めたい本を揃えたものです。「児童の心を豊かに」という願いを込め，話し合いを行い，ブックリストを作成しました。良書が揃っていますので，ご家庭でも親子で読書に触れ合ってみてください。

交通ルール・マナーについてのお願い

毎年，地域の方から学校に次のような連絡があります。正門前の路上に車を停めたり，一方通行を逆走しているために，「道路が通行できなかった」「(路上など）危険な場所で子供の乗り降りをさせている」といったものです。逆走については道路交通法違反ですし，正面衝突の可能性があり，大変危険です。警察の取締箇所にもなっているようです。また，学校横のお宅の敷地内で転回をしている車もあるようです。各家庭で再度，御確認ください。**学校は，徒歩による登下校を奨励しています**。なお，雨天時は南門を開放します。お互いに譲り合いながら御利用ください。

《６月の主な行事》

月	日	曜	行事等	月	日	曜	行事等
6	1	土	ＰＴＡミニバレー大会	6	21	金	学校保健委員会
	3	月	水泳学習開始		27	木	芸術鑑賞会（５校時　SSプラザ）
	4	火	授業参観（２～４校時～５日）		28	金	６年プール清掃
	8	土	中央中校区引き渡し訓練（２～３校時）		※　芸術鑑賞は，クラシックバレエを鑑賞します。		
	15	土	５校ＰＴＡミニバレー大会				

※　芸術鑑賞は，保護者の方も鑑賞できます。鑑賞を希望される方は，当日ＳＳプラザにお越しください。事前申し込みの必要はありません。